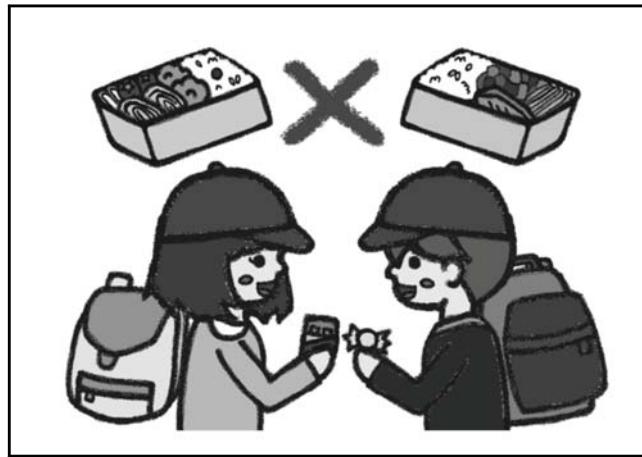


⑨



## 食物アレルギーの原因食品②（表示）

食物アレルギーの原因食品として代表的なものには、以下のものがあります。食物アレルギーによる事故を防ぐため、パックや缶、袋などで包装された食品には、主な原因となる7品目を表示する義務があります。このほか、表示することが推奨されている食品が21品目あります。

表示義務がある 7品目	卵、乳、小麦、落花生（ピーナッツ）、えび、かに、そば
表示が推奨 されている 21品目	魚介類 いくら、さば、さけ、いか、あわび
	肉類 鶏肉、豚肉、牛肉
	いも・豆 やまいも、大豆
	種実類 くるみ、カシューナッツ、ごま、アーモンド
	果物 キウイフルーツ、バナナ、もも、りんご、オレンジ
	その他 まつたけ、ゼラチン

（注）「乳」とは、牛乳などの乳成分を含む食品です。  
「アーモンド」は、2019年9月に推奨品目になりました。

★Bちゃんと★Aくんは、チョコレートとあめを交換しました。

★Aくんがもらったチョコレートには牛乳が使われていました。

★Aくんがこのチョコレートを食べてしまつたら、どうなりますか？

★Aくんは、食物アレルギーが起こつてしまふかもしれませんね。遠足などでお弁当やおやつを食べるときは、食べ物を交換するのをやめましょう。

給食だけでなく、遠足などでもお弁当やおやつを食べるときも気をつけてほしいことがあります。